

お見せします！

さっぽろの家計簿



市では毎年、予算の執行状況や決算を公表し、市民の皆さんが納めた税金がどのように使われているのかをお知らせしています。ここでは、市の財政状況や平成25年度の決算の概要をお伝えします。

このページに関する問い合わせは企画調査課☎211-2216

さっぽろの財政の今とこれから

今

自ら賄える収入は少ないですが 財政は健全です

他の政令市と比べ、市税などの自主財源から得られる収入が少なく、お金の使い道の自由度も低くなっています。しかし、自治体の財政が良好かどうかを示す「健全化判断比率」は、いずれの指標も健全な水準を維持しています。

■**財政力指数 0.692** ■**経常収支比率 92.3%**
標準的な行政サービスを行うためのお金を、自治体が自ら賄える割合
市税などの経常的に入る財源が、市債の返済などの義務的な経費に充てられる割合

政令市20都市中19位
政令市平均0.844

政令市20都市中7位
政令市平均94.6%

■健全化判断比率(平成25年度の決算のデータを基に算出)

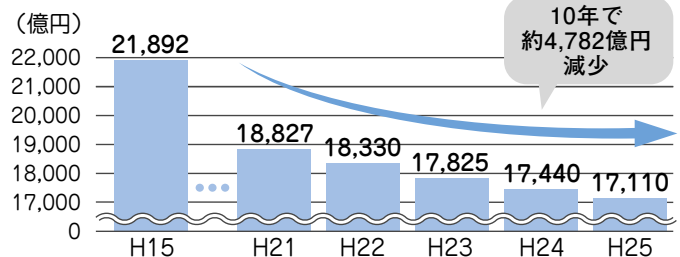
指標	内容	札幌市	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計等を中心とした会計の赤字の割合	赤字なし	11.25%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計、企業会計の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	6.7%	25%
将来負担比率	将来に負担が見込まれる負債(借金)の割合	78.0%	400%

※この基準を上回ると財政の健全化に向けた取り組みが必要になります

市債残高は10年連続で 減少しています

市債とは市の借金であり、一般・特別・企業会計の市債残高の合計は、約1兆7,110億円。平成24年度末と比べて約330億円減少しました。

■市債残高

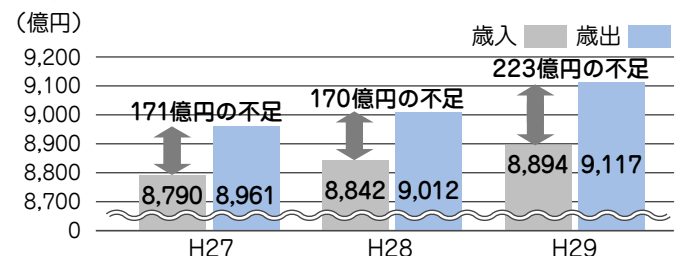


これから

収入の伸び悩みと 支出の増加が見込まれます

働く世代の人口の減少が予想されており、市税などの収入の増加は期待できません。さらに、高齢化に伴い医療などへの支出が増えるため、厳しい財政状況が続きます。

■今後の財政の見通し



お金が足りない状況が続くため、市はお金の使い方や集め方を見直しています

支出の節約を徹底

事務を効率化するほか、人件費の見直しなどを進めます。

公共サービスの見直し

利用者負担や費用に見合ったサービスを提供します。

事業に優先順位をつける

公共事業や臨時の事業は、優先度の高いものから集中的に行います。

財産を有効に活用

今後使用する見込みがない市有地の売却を進めます。

平成 25 年度の決算の内容

昨年度の
お金の
使われ方を
見てみよう



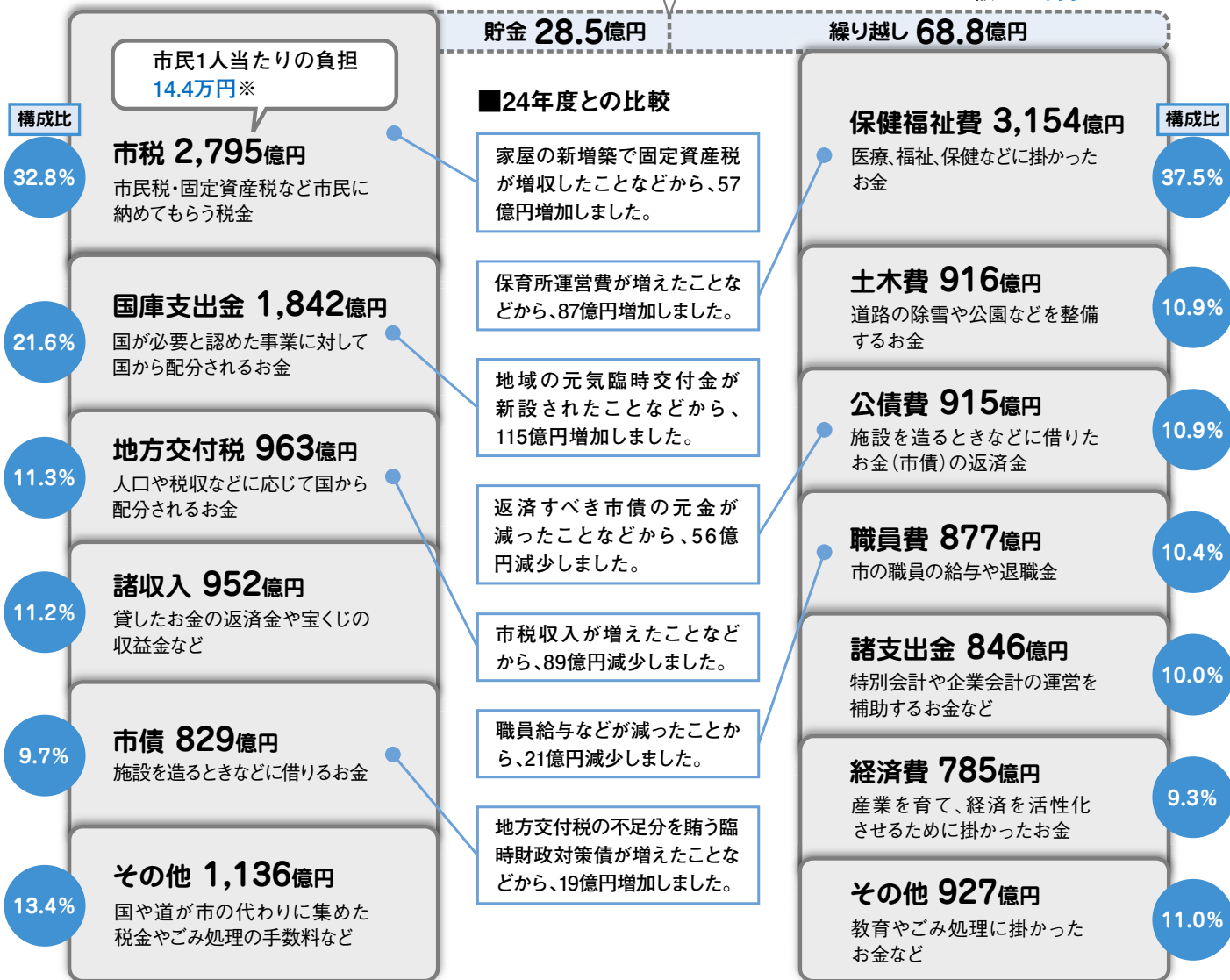
一般会計

一般会計とは福祉や教育など、市の基本的な事業の会計。
歳入で市債などが予算額を下回ったものの、歳出をできる
限り節約したことから、97.3億円の黒字になりました。

歳入総額 8,517億円
前年度比75億円増(0.9%増)

歳入から歳出を引いた97.3億円の
うち、68.8億円を26年度に繰り越し
28.5億円を貯金しました。

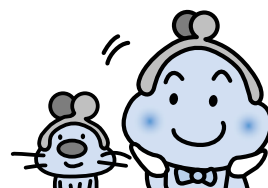
歳出総額 8,420億円
前年度比49億円増(0.6%増)
市民1人当たりには掛かった
サービスの額**43.5万円**※



※26年4月1日現在の人口(国勢調査ベース)を基に算出

特別会計

一般会計とは別に経理を行う8つの特別会計。
いずれの会計でも赤字はありませんでした。



区 分	土地区画整理	駐車場	母子寡婦福祉資金貸付	国民健康保険	後期高齢者医療	介護保険	基金	公債
歳 入	36.1億円	4.3億円	2.6億円	2,071.1億円	218.2億円	1,146.9億円	17.5億円	4,131.1億円
歳 出	36.1億円	3.5億円	1.5億円	2,054.3億円	210.8億円	1,144.1億円	17.2億円	4,131.1億円
差し引き	0円	0.8億円	1.1億円	16.8億円	7.4億円	2.8億円	0.3億円	0円

企業会計

企業会計は、民間企業のように利用料金などの収益で運営する事業の会計。事業による収入と支出を差し引きして計算する収益的収支は、路面電車、地下鉄、水道、下水道で黒字になりましたが、市立札幌病院と中央卸売市場では赤字になりました。



市立札幌病院

主な実施内容
災害を想定した電気設備の増設工事

収益的収支

収入 **211.8**億円 - 支出 **212.4**億円
= **-0.6**億円

資金の状況 **57**億円の資金残
赤字の累計額 **170**億円



中央卸売市場

主な実施内容
環境に優しい市場を目指し、場内の照明設備をLED化

収益的収支

収入 **19**億円 - 支出 **22**億円
= **-3**億円

資金の状況 **11**億円の資金残
赤字の累計額 **64**億円



路面電車

主な実施内容
新型低床車両の購入や老朽化した設備の更新

収益的収支

収入 **14.1**億円 - 支出 **13.7**億円
= **0.4**億円

資金の状況 **8**億円の資金残
赤字の累計額 **1**億円



地下鉄

主な実施内容
変電所の設備や運行管理システムの更新

収益的収支

収入 **467**億円 - 支出 **398**億円
= **69**億円

資金の状況 **2**億円の資金残
赤字の累計額 **3,141**億円



水道

主な実施内容
施設、水道管路の更新や耐震化

収益的収支

収入 **420.6**億円 - 支出 **344.2**億円
= **76.4**億円

資金の状況 **98**億円の資金残
※水道施設更新積立金80億円を含む



下水道

主な実施内容
水質の改善や災害対策、老朽化した施設の改築

収益的収支

収入 **413.5**億円 - 支出 **404.1**億円
= **9.4**億円

資金の状況 **64**億円の資金残
赤字の累計額 **261**億円

資金:ここでは年度末に残っていたお金などのこと

資産

基金

特定の事業を行ったり、財源が不足したりするときに使う市の貯金

残高3,023億円

財政調整基金175億円など21基金

財産

●公有財産

土地/5,439万㎡ 建物/延べ面積566万㎡
有価証券/15億円 出資による権利/159億円

●物品(100万円以上のもの)/4,799点(台)

●債権(民間への貸付金など)/42億円

平成26年度予算の 9月までの執行状況

一般会計

歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
9,149億円	40.7%	39.2%

特別会計

区分	歳入歳出予算額	歳入執行率	歳出執行率
国民健康保険	2,072億円	33.2%	42.1%
介護保険	1,240億円	39.3%	40.8%
その他	296億円	31.9%	27.4%

企業会計

区分	収入予算額	予算執行率	支出予算額	支出執行率
市立札幌病院	233億円	44.0%	282億円	58.9%
中央卸売市場	24億円	40.0%	31億円	19.2%
路面電車	16億円	38.7%	24億円	49.0%
地下鉄	476億円	46.8%	482億円	33.1%
水道	529億円	54.3%	378億円	37.1%
下水道	537億円	39.4%	550億円	24.6%

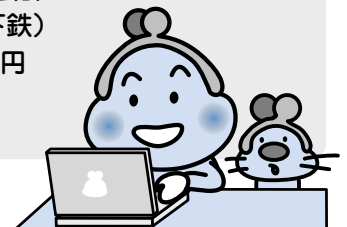
市債残高

区分	市債残高
一般会計	9,598億円
特別会計	29億円
企業会計	7,215億円
合計	1兆6,842億円

一時借入金 残高

企業会計
(地下鉄)
20億円

基金残高 2,968億円



市の財政の詳細は、ホームページでもご覧になれます

札幌市の財政

検索